

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 3 年度第 2 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	かけがわ報徳パワー(株)を核としたエネルギー地産地消拡大計画策定事業	
補助事業者名	掛川市	
補助事業の概要	地域循環共生圏の推進におけるステークホルダー間の役割の整理と、事業の全体計画並びに中期的なビジョンを明らかにし、今後 10 年程度を射程とした、「エネルギーの地産地消」を始めとする地域課題解決に向けたロードマップを策定した。	
総事業費	9,427,000 円	
補助金充当額	9,427,000 円	
定量的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2023 年度までに、新たな発電設備を 1 箇所以上設置する。 ・ 2030 年度までに、市内の再エネ比率 22%を達成する。 	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	電力価格の高騰などの直近の状況も考慮しつつ、エネルギーの地産地消を推進し掛川地域循環共生圏を実現するための役割や課題について整理し、かけがわ報徳パワーが持続的な発展をするための方策を明らかにすることを通して、当該者を核とした地域循環共生圏の実現のための道筋を示した。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約（間接補助）の目的	再生可能エネルギーを地域課題解決に活用するにあたり、事業者が有するまちづくり全般に関する幅広い、高度かつ最新の知見を活用するため。
	契約の方法	随意契約（公募型プロポーザルによる）
	契約の相手方（間接補助先）	昭和設計株式会社
	契約金額（間接補助金額）	9,427,000 円
来年度以降の事業見通し	<p>本事業により明らかになった課題、及びエネルギー価格の高騰といった世界的な課題に対応すべく、かけがわ報徳パワー株式会社による創エネ・省エネ事業や、本市公共施設への再生可能エネルギー導入事業を推進していく。</p> <p>そのため、次年度は本市公共施設を対象とした網羅的な再生可能エネルギー発電設備導入可能性調査を実施し、有望な施設については簡易的な導入計画の策定を通じて、最適な導入スキームを検討していく予定。</p>	

(備考)

- 1 事業完了した日から 3 ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。

- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領 8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。